

防災シンポジウム

「冬の北海道の広域複合災害」

北海道では、積雪厳寒期に地震などが発生した場合、暴風雪などの影響と相まって広域複合災害となる恐れがあります。電気、交通などのライフラインへの影響も大きくなることが懸念されます。

本シンポジウムでは、積雪厳寒期の災害時の行政対応、交通ネットワークの緊急対応、平常時からのハード対策、感染症に配慮した避難対策、災害情報の収集・伝達などについて議論します。

令和3年 9月9日(木)

時間：13時30分～16時00分(13時00分開場)

場所：北海道大学 フロントア応用科学研究棟・鈴木章ホール
2階レクチャーホール(札幌市北区北15西8)

参加
無料
要事前申込

定員
60人
(一般)

Live
配信あり

【応募方法】 締め切りは8月31日(火)

◆来場希望の場合◆

住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレスを明記して、はがき(〒060-8656 札幌市中央区北4西4の1の8)、FAX(011-242-3153)、メール(d-jigyoku@yomiuri.com)のいずれかで読売新聞北海道支社総務部「防災シンポジウム係」まで。先着順で募集人数に達し次第締め切ります。当選者の発表は入場券の発送をもって代えさせていただきます。

◆オンライン配信希望の場合◆

住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレスを明記し、メール(d-jigyoku@yomiuri.com)でお申込みください。後日メールにて視聴方法をお知らせします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により無観客又はオンライン配信のみの可能性があります。

来場希望の方にもオンライン配信をご案内します。

※お送りいただいた個人情報は、シンポジウム入場券発送以外には使用いたしません。

※本シンポジウムは、検温・消毒など感染予防に配慮して開催します。

問い合わせ＝読売新聞北海道支社総務部(011-242-5630、平日の午前10時～午後5時)

プログラム

13:30 開会挨拶 寶金 清博(北海道大学総長)

13:40 基調講演 丸谷 知己(北海道大学名誉教授・(地独)北海道立総合研究機構理事)
「無用の用 -災害軽減のためのバッファゾーン-」

14:10 一般講演

稲津 将(北海道大学大学院理学研究院教授 兼 広域複合災害研究センター兼務教員)

萩原 亨(北海道大学大学院工学研究院教授 兼 広域複合災害研究センター兼務教員)

桑島 正樹(国土交通省北海道開発局事業振興部調整官)

野崎 直人(北海道総務部危機対策局長)

井上 雄太(読売新聞北海道支社編集部北海道庁担当記者)

岡田 成幸(北海道大学広域複合災害研究センター特任教授)

15:10 パネルディスカッション ～“冬の北海道の広域複合災害”を考える～

コーディネーター：厚井 高志(北海道大学広域複合災害研究センター副センター長)

15:55 閉会挨拶 稲葉 光秋(読売新聞北海道支社長)

総合司会：渡辺 亮(読売新聞北海道支社次長)



丸谷 知己 氏

主催：北海道大学広域複合災害研究センター、読売新聞北海道支社

後援：北海道開発局、北海道、(地独)北海道立総合研究機構

※北海道大学と読売新聞北海道支社は包括連携協定を結んでいます

